

第9回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月18日（金）

18時15分から18時40分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

18時15分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。

（資料を基に説明）

【盛岡地方气象台】

- 今後の天候について

広い範囲で大雨の見込み。大雨のピークは19日の昼前から昼過ぎにかけて。内陸と沿岸南部で多く降る見込み。沿岸部では少しの雨でも河川の増水・氾濫、土砂災害等、2次災害のおそれがある。

【西島防災危機管理監】

- 今後の会議について報告。

次回の本部員会議は、21日（月）9時から庁議の冒頭に開催する。

10/19（土）及び10/20（日）は対応状況を书面報告する。

【各本部員等】

- 各部署及び関係機関の対応状況等について報告。

・秘書広報室長

県の公式ホームページで被災者支援に関する情報を集約した特設ページを開設した。

・政策地域部長

三陸鉄道が寄付専用のサイトを開設した。ふるさと岩手応援寄付には13日以降に11件の寄付が寄せられている。

・環境生活部長

水道施設は宮古市で想定以上に道路被害があり、復旧に時間を要する状況である。

今回から災害廃棄物の仮置き場の設置状況を記載している。仮置き場は6市町村9か所に設置、その他の被災市町村は仮置き場を設置せずごみ処理施設に直接搬入する。仮置き場のごみの量によっては、他管内で処理出来るように調整を進める。

・保健福祉部長

急性期の患者搬送の支援が完了。

義援金の受付を開始した。

- ・農林水産部長

農業関係の被害の細かな状況が入ってきているが、一部の市町村については情報が来ない状況である。急ピッチで被害額の算定作業を行っており、途中経過ではあるが次回の本部員会議で報告する。

被害額は途中経過で、農業関係で2億3千万円、林業関係は13億円、水産関係は沖に出ないと確認できないがトータルで18億円となっている。

東北森林管理局の協力で、空からの森林被害の状況把握を実施しており、前回の調査では大規模な山腹崩壊はない。

県内の農業共済に対し、共済金の早期支払いを要請、関係金融機関に資金の円滑な融通、償還猶予の配慮を15日に要請した。

- ・商工労働観光部長

企業等の状況の調査が進んでいる。久慈市の件数、被害額が大きくなっている。

- ・県土整備部長

県管理道路の全面通行止めは10路線13か所となった。建設業協会の災害協定により沿岸管内中心に啓開作業、応急作業を行っている。砂防関係では土石流等は32か所、がけ崩れは12か所となっている。家屋の一部損壊は普代村の被害が出てきた。

公共土木施設の被害状況は、調査率100%で被害箇所995か所、被害額221億円で国に報告済み。

- ・陸上自衛隊岩手駐屯地

航空自衛隊、陸上自衛隊ともに大幅に増員して活動中。重茂半島の現地確認を行ったところ、大幅な増員が必要であることを確認し、昨日から増員している。

明日の雨の状況によっては一時作業が困難となる可能性がある。再度災害が発生した場合は人命救助等対応を行っていく。

何か状況変化があれば県、市町村、自衛隊で認識を合わせ、情報共有を行っていきたい。

- ・沿岸広域振興局長

大船渡、陸前高田市の被災現場を見てきた。明日からの雨で宮古、山田に避難勧告が出ているが、情報収集、迅速な対応をとっていきたい。

- ・県北広域振興局長

久慈市の家屋調査、罹災証明発行の支援のため21日から1週間程度、振興局職員を派遣予定。

明日の雨に備え、久慈市の夏井川の洗掘箇所に大型の土のうの設置、普代村の普代川と茂市川の合流部に土砂の堆積しており川底が高くなっていることから土砂の撤去を行った。

【総務部長】

- 対応方針を報告。
(資料を基に説明)

【達増本部長（知事）】

本部員として陸上自衛隊、盛岡地方気象台、そして、リエゾンとして東北地方整備局、陸上自衛隊、航空自衛隊、経済産業省、盛岡地方気象台の皆さんにも御参加いただき、御協力に感謝申し上げます。

特に自衛隊の皆様には、道路の啓開や、土砂の除去など、全力を挙げて取り組んでいただいており、重ねて御礼申し上げます。

発災から1週間となり、避難所で生活されている方、自宅や農地、漁港、工場等の瓦礫、土砂の除去作業をされている方、被災した皆さんの疲労も重なってきている。

これまでの被災者の方々を支援する取組を継続するとともに、特に応急対策として、災害廃棄物の処理や、災害ボランティアの受入れ、生活再建に向けた罹災証明書の発行事務の支援など、被災者そして被災市町村のニーズに沿って、丁寧に対応していきましょう。

気象台からも説明いただいたが、19日の土曜日、明日は県内に大雨が降ることが予想されていることから、土砂災害、洪水への十分な警戒と、関係機関間の連絡、住民に対する情報伝達手段の確保など、事前の備えが重要である。被災市町村と応急・復旧・生活支援にあたる防災関係機関が連携を密にし、しっかりと安全の確保と警戒対策するよう、よろしく願います。

18時40分閉会

※ 第10回本部員会議は10/21（月）庁議冒頭に開催予定